

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	国際テクニカル理容美容専門学校
設置者名	学校法人ティビィシー学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	美容学科	夜・通信	2010単位時間	160単位時間	
	理容学科	夜・通信	2010単位時間	160単位時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

刊行物、1階受付カウンターにて閲覧可能

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	学校名を入力してください。
設置者名	設置者名を入力してください。

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学院ホームページ <https://tbcgakuin.ac.jp/common/pdf/2023/01.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	令和3年5月29日～令和6年5月28日	教職員の勤怠管理
非常勤	会社代表取締役	令和3年5月29日～令和6年5月28日	校外学習の企画・運営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	設置者名を入力してください。
設置者名	設置者名を入力してください。

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>*授業計画の作成 年度終了の3月から4月にかけて、前年度の反省改善を踏まえ、年間スケジュールを確認し、担当教員により、授業カリキュラム、シラバスの作成を行う。</p> <p>*公表に係わる取り組みの概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 年度初めに授業計画の作成 2) 授業計画の確認訂正 3) ワードにて授業計画入力 	
授業計画書の公表方法	刊行物、1階受付カウンターにて閲覧可能
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 定期のテストを行い学習状況把握 2) レポートなどの提出により、学習状況を把握 3) 出欠席の管理をし、学習状況を管理 4) 出欠状況、テスト・レポートの提出状況を踏まえ成績評価 5) 成績評価状況により単位を与える。 <p>A評価・・・期末テスト 80～100点 学習状況 優 出欠席 優</p> <p>B評価・・・期末テスト 79～70 点 学習状況 良 出欠席 良</p> <p>C評価・・・期末テスト 69～60 点 学習状況 可 出欠席 可</p> <p>D評価・・・期末テスト 60点以下 学習状況 不可 出欠席 不良</p> <p>*取り組みの概要 定期的の小テストや期末テストで評価を行い、成績の評価をし、学習の取り組みの様子を確認し、成績をつ</p>	

ける。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

客観的な指標の算出方法

学業成績をはかる基準として、授業科目ごとの成績を前期、後期（通年）の年2回、以下の算出方法により、点数（100点満点）化し、全科目の合計点の平均を算出している（成績評価点制度）

<各授業科目の成績評価点算出方法>

- ①テストの実点数（100点満点）×成績評価割合＝成績評点
 - ②課題提出評価点（100点満点）×成績評価割合＝成績評点
 - ③授業姿勢評価点（100点満点）×成績評価割合＝成績評点
- 合計＝成績評点
- *①から③の成績評価割合（合計100%）は、各授業担当者が設定

<全科目の合計点の平均算出方法>

全科目の合計点÷授業科目数＝平均点

客観的な指標の
算出方法の公表方法

刊行物、1階受付カウンターにて閲覧可能

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

・<卒業認定実技及び筆記試験に合格>

卒業前に筆記テストを3回行いすべて70%以上の点数を取ること。

実技試験において卒業に値する技術を取得していること。

・<美容師養成施設に定める、全教科の規定時間を履修し全科目の単位を取得>

美容師養成施設が定める必修科目、選択科目の規程時間を全て満たしていること。

・<学費がすべて納入されていること>

*適切な実施に係わる取り組みの概要

出欠状況を明確にし、適切な時間を履修させる。

定期的に実技、学科のチェックを行い、卒業試験に向けて指導する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

刊行物、1階受付カウンターにて閲覧可能

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	国際テクニカル理容美容専門学校
設置者名	学校法人ティビィン学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学内掲示
収支計算書又は損益計算書	学内掲示
財産目録	学院ホームページ https://tbcgakuin.ac.jp/common/pdf/2023/02.pdf
事業報告書	学院ホームページ https://tbcgakuin.ac.jp/common/pdf/2023/01.pdf
監事による監査報告（書）	学院ホームページ https://tbcgakuin.ac.jp/common/pdf/2023/02.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		専門課程	理容学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2010 単位時間／単位	610		1400		
			<small>単位時間/単位</small>	<small>単位時間/単位</small>	<small>単位時間/単位</small>	<small>単位時間/単位</small>	<small>単位時間/単位</small>
			2010		単位時間／単位		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50 人		32 人	0 人	3 人	2 人	5 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）
（概要） 授業方法及び内容 別紙参照 年間の授業計画 年度終了の3月から4月にかけて、前年度の反省改善を踏まえ、年間スケジュールを確認し、担当教員により、授業カリキュラム、シラバスの作成を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）

A評価・・・期末テスト 80～100点 学習状況 優 出欠席 優
 B評価・・・期末テスト 79～70 点 学習状況 良 出欠席 良
 C評価・・・期末テスト 69～60 点 学習状況 可 出欠席 可
 D評価・・・期末テスト 60点以下 学習状況 不可 出欠席 不良

*取り組みの概要
 定期的に小テストや期末テストで評価を行い、成績の評価をし、学習の取り組みの様子を確認し、成績をつける。

卒業・進級の認定基準

(概要)

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

・〈卒業認定実技及び筆記試験に合格〉
 卒業前に筆記テストを3回行いすべて70%以上の点数を取ること。
 実技試験において卒業に値する技術を取得していること。

学修支援等

(概要)

早朝や放課後の補修授業を行う。
 長期休みを利用し、学習で遅れている学生の補修授業。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15 人 (100%)	0 人 (0.0%)	15 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)

(主な就職、業界等)

Smile hair / HONMA / 株式会社ハレケ

(就職指導内容)

就職研修にて面接指導、一般常識問題、履歴書の書き方、小論文指導

(主な学修成果（資格・検定等）)

理容師国家試験 JNA主催ネイリスト検定3級
 色彩検定3級 色彩検定2級 アロマ検定1級 ジェルネイル検定初級

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

32	0	0.0
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
退学防止委員会の設置		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生分野		専門課程	美容学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2010 単位時間/単位	610		1400		
			単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
		単位時間/単位	2010		単位時間/単位		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		106 人	0 人	4 人	2 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要)
(概要) 授業方法及び内容 別紙参照 年間の授業計画 年度終了の3月から4月にかけて、前年度の反省改善を踏まえ、年間スケジュールを確認し、担当教員により、授業カリキュラム、シラバスの作成を行う。
成績評価の基準・方法
(概要)
A評価・・・期末テスト 80～100点 学習状況 優 出欠席 優 B評価・・・期末テスト 79～70 点 学習状況 良 出欠席 良 C評価・・・期末テスト 69～60 点 学習状況 可 出欠席 可 D評価・・・期末テスト 60点以下 学習状況 不可 出欠席 不良
*取り組みの概要 定期的に小テストや期末テストで評価を行い、成績の評価をし、学習の取り組みの様子を確認し、成績をつける。
卒業・進級の認定基準
(概要)

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

・〈卒業認定実技及び筆記試験に合格〉
卒業前に筆記テストを3回行いすべて70%以上の点数を取ること。
実技試験において卒業に値する技術を取得していること。

・〈美容師養成施設に定める、全教科の規定時間を履修し全科目の単位を取得〉
美容師養成施設が定める必修科目、選択科目の規程時間を全て満たしていること。

・〈学費がすべて納入されていること〉

学修支援等

(概要)

早朝や放課後の補修授業を行う。
長期休みを利用し、学習で遅れている学生の補修授業。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
43 人 (100%)	0 人 (0.0%)	39 人 (90.7%)	4 人 (9.3%)

(主な就職、業界等)

SHIMA / Aria / グランツ / ケンジ

(就職指導内容)

就職研修にて面接指導、一般常識問題、履歴書の書き方、小論文指導

(主な学修成果 (資格・検定等))

美容師国家試験 JNA主催ネイリスト検定3級
色彩検定3級 色彩検定2級 アロマ検定1級 ジェルネイル検定初級

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
101 人	9 人	8.9 %

(中途退学の主な理由)

進路変更に伴う退学
(中退防止・中退者支援のための取組)
退学防止委員会の設置

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理容学科	100,000 円	600,000 円	290,000 円	施設設備費
美容学科	100,000 円	600,000 円	290,000 円	施設設備費
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
日本学生支援機構の奨学金を利用し、年間の学費を毎月分割で納入する分納システムを取り入れている。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
刊行物、1階受付カウンターにて閲覧可能 (予定)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>学校の実施する自己点検評価に対し、学校関係者による「学校関係者評価委員会」を設けて外部評価を実施し、学校運営の継続的改善を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な評価項目：教育活動、学修成果、就職等の学生支援、学生募集、財務、等 ・ 評価委員会の構成：委員定数は最低3名。少なくとも①関係企業等、②業界団体等、③卒業生、の各分野から1名を選任。 ・ 評価結果の活用：6月迄に前年度を対象に評価を受け、当年度の活動で、その改善方策を実施する。総責任者は校長。 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
会社役員	令和3年5月29日～令和6年5月28日	教職員の勤怠管理
会社代表取締役	令和3年5月29日～令和6年5月28日	校外学習の企画・運営
卒業生	令和3年5月29日～令和6年5月28日	教育活動

学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
刊行物、1階受付カウンターにて閲覧可能 (予定)		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
刊行物、1階受付カウンターにて閲覧可能